

旭川赤十字病院の医療安全ポリシー

旭川赤十字病院では、患者・家族の皆様が医療安全に参加していただき、パートナーシップの強化に努めたいと考えております。

患者・家族の皆様の医療安全への参加について、“患者・家族の安全対策 10 ヶ条”を掲載いたしました。お読みいただきご協力下さいますようお願いいたします。

当院は以下の 3 点を指針として医療安全に取り組んでいます。

- | |
|-------------------------|
| 1. 患者の安全確保を最優先とする。 |
| 2. 安全確保のためにシステム改革を実行する。 |
| 3. 患者・家族の方と一緒に事故防止に努める。 |

患者・家族の安全対策 10 ヶ条

1 条 医師から病状や治療などの説明を受けるとき（説明—納得—同意）

- ・医師から説明を受ける場合は、できれば患者さん一人ではなく家族の方も一緒にお聞き下さい。説明を希望される日時は主治医もしくは看護師にご連絡下さい。説明の日時の予約を調整させていただきます。
- ・医師の説明で不十分なことや納得できないことがある時は職員へお申し出下さい。補足説明または再度ご説明する機会を設けます。
- ・十分に理解・納得した上で治療や検査を選択していただき、ともに医療と取り組みましょう。

2 条 回診時間とその利用方法について

- ・回診時間は診療科により異なりますので入院の際にご案内いたします。科によってこの時間を利用し検査、手術、退院などの簡単な打ち合わせをすることも可能です。

3 条 入院中に他の科の受診を希望される場合について

- ・基本的には、主治医の判断で他の専門科と連携し診療いたしますが、自ら希望される場合は主治医または看護師にお話ください。主治医が当該科に受診依頼を行います。

4 条 面会について

- ・面会される前に、まずナースステーションへお寄り下さい。
- ・面会制限や注意事項などがある時は、ご説明させていただきますのでご協力をお願い致します。

- ・インフルエンザや流行性感冒 風疹などで治療中の方や、腹痛や下痢、吐き気やおう吐（ノロウイルス感染症症状）のある方の面会はお断り致します。
- ・病室へ入られる時は、アルコールジェルを両手にまんべんなく擦り込んでからお入り下さい。またお帰りになる時もアルコールジェルをご使用下さい。

5条 誤認・誤薬・輸血間違い防止について

- ・小児を除く全ての入院患者さんに、リストバンドを着用していただきます。
- ・注射や採血、検査、薬等を受け取る時は、お名前をフルネームで名乗って下さいますようお願い致します。
- ・必要に応じて「生年月日」もお聞きします。同姓同名は良くある事なので、患者間違い防止のためにご協力をお願いします。
- ・点滴や注射器のラベルに書かれた患者氏名を看護師と一緒にご確認ください。
- ・採血の時は、検体容器ラベルの患者氏名を看護師と一緒にご確認ください。
- ・輸血の際は血液型の確認をお願いしています。血液型をご存じの場合はお答え下さい。
- ・名前を確認されない事がございましたら、名前を確認するように職員へお伝え下さいますようお願い致します。

6条 転倒・転落などの危険防止について

- ・入院による環境の変化によって、特に高齢の方は転倒・転落の危険性が高まります。
- ・スリッパやサンダルのご使用は転倒の危険性が高くなります。履きなれた靴や介護靴などの使用をお願い致します。
- ・入院後、患者さん並びにご家族の方は床頭台テレビで「転倒転落予防ビデオ」をご視聴いただき、転倒しやすい履物や動作の確認などのご理解をお願い致します。
- ・転倒転落の危険度は、アセスメント用紙の質問項目の点数の合計により算出しています。危険度は転倒転落しやすい状況を信号機に見立てた3色に色分けして、ベッドサイドのインフォメーションボードに表示しています。

赤＝転倒転落を起こしやすい
黄＝転倒転落を起こす危険性がある
青＝転倒転落を起こす危険性は少ない

- ・転倒転落防止案内「転倒転落を防ぎ安全で快適な入院生活を過ごしていただくために」も是非お読み下さい。

7条 薬について

- ・普段から服用されている薬や、薬のアレルギーなどがあれば教えてください。
- ・薬をお渡しする時、薬剤師や看護師はお名前を確認しますのでご協力下さい。

8条 意思表示は明確に

- ・救命医療が最優先されます。患者自身の意思表示が明確かつ有効な場合はその意志を尊重いたします。本人の意思表示が不明な時は、ご家族の希望をお聞きします。

- ・輸血に関する希望、宗教的なこと、ドナーカード、人工呼吸器使用の可否など意思表示がある場合は明確に表示してください。

9条 感染対策について

- ・医療従事者は院内の感染防止マニュアルにしたがって医療行為をしています。自然環境内にはいろいろな病原菌が存在しています。病院内も同じ事がいえます。また、重症患者様や抵抗力の弱い患者さんは、感染しやすい状態になっていますので、以下ご協力をお願い致します。
- ①感染防止は手洗いが重要です。食事の前には手洗いをお願い致します。洗面所での石鹸手洗いができない場合は、各ベッドテーブルに備えてある「アルコールジェル」をご使用下さい。
 - ②トイレ使用後は、石鹸と流水で両手全体をしっかりと洗ってください。
 - ③面会等で病室へ出入りする時は、洗面所にてまず石鹸手洗いをされてからお入り下さい。ご家族やご友人を守るためにもご協力をお願い致します。また、お帰りになる際も手洗いは、アルコールジェルを両手にまんべんなく擦り込んでからお帰り下さい。
 - ④感染防止のために、大勢での面会や小さなお子様連れ、ペット同伴での面会をご遠慮願います。
 - ⑤感染症（例：インフルエンザや流行性感冒、風疹など）で治療中の方や、腹痛や下痢、激しい吐き気やおう吐（ノロウィルス感染症症状）のある方の面会はお断り致します。

10条 その他

- ・病室に貴重品はなるべく持ち込まないようお願い致します。
- ・病状やその他にも疑問に思ったことは、遠慮なくお尋ねください。
- ・治療や投薬を始めたあとに、体に何か変化がありましたら医療者へ詳細にお伝え下さい。
- ・入院中になにかご心配なことやお分かりにならないこと、お困りのことがございましたら、1階「患者相談窓口」で医療ソーシャルワーカー（MSW）がご相談に応じます。お気軽にご相談下さい。
- ・医療安全指針は、旭川赤十字病院ホームページからも閲覧することができます。